

第6回「臨床宗教師研修」のご案内

主催 東北大学実践宗教学寄附講座・「心の相談室」

【研修の目的】

「臨床宗教師」は、公共的な役割を果たす「宗教的ケア」の専門家である。この研修は、宗教者としての全存在をかけて人々の苦悩や悲嘆に向き合い、そこから感じ取られるケア対象者の宗教性を尊重し、公共空間で実践可能な「宗教的ケア」を学ぶことを目的とする。そのために次の四点を習得することを目指す。

①「傾聴」と「スピリチュアルケア」の能力向上

自分の宗教宗派の教義や世界観を前提として対象者に接するのではなく、まず相手の声を真摯に聴き、悲嘆を受け止め、自然に顕れてくる宗教性を尊重することの重要性を学び、それぞれを現場での実践やグループワークを通じて体得することを目指す。

②「宗教間対話」「宗教協力」の能力向上

他宗教、他宗派の宗教者と目的を一にして共に学び合う機会を通して、自分の信仰をあらためて相対化することを試み、他者の信仰を尊重する姿勢を学び、自らの気づきを共有する。

③宗教者以外の諸機関との連携方法を学ぶ

公的機関と宗教者が連携し、宗教者が公共的存在として活動するためには、お互いに様々な配慮が必要である。宗教者としてのアプローチがどのような影響を与えるか、自分自身の言動を見つめつつ、慎重かつ積極的な働きかけの方法を学ぶ。

④幅広い「宗教的ケア」の提供方法を学ぶ

他の宗教宗派の儀礼や世界観を学び、他の宗教、他宗派の宗教者との同一性と差異性についての理解を深める。その上で、共に祈りを捧げることや、ケア対象者の求めに応じて適切な宗教者や宗教組織を紹介する方法について学ぶ。

【開催日程】

10月から12月までの間に2泊3日ないし1泊2日の全体会を3回開催し、全体会とその次の全体会までの間を実習期間とする。

<全体会1>

日 程： 2014年10月15日（水）午前10時～17日（金）午後5時

集合場所： 石巻市・JR石巻駅前（9時30分集合）

<全体会2>

日 程： 2014年11月17日（月）午前10時～18日（火）午後5時

集合場所： 仙台市太白区・JR南仙台駅前（9時30分集合）

<全体会3>

日 程： 2014年12月15日（月）午前10時～16日（火）午後5時

集合場所： 仙台市青葉区・仙台市営地下鉄台原駅前（9時30分集合）

【参加費】

研修費は無料。食費・宿泊費・研修中の交通費、病院等施設実習費（5,000円程度）は自己負担。

※全体会の宿泊は仙台市内／石巻市内の寺院での合宿

※実習先への交通費・宿泊費は自己負担。

【募集要件】

参加人数： 12～15名（実習先の班ごとに定員を定める）

対象者： 信徒の相談に応じる立場にある者。

※応募者多数の場合は、宗派教派・年齢・性別・地域のバランスなどを総合的判断して決定する。

※応募締め切り：2014年9月16日（火）必着。

※指定の申込用紙に必要事項を記入し、下記のレポート4点を添えて郵便で送付すること。

<実習班>

「青葉班」（1～2名）：岡部医院、仙台食品放射能計測所、電話相談（「心の相談室」）

「日高見班」（2～4名）：岡部医院、カフェ・デ・モンク

「宮城野班」（1～2名）：光ヶ丘スペルマン病院ホスピス

「武蔵野班」（2～3名）：倭成病院ビハラー病棟

「越州班」（2～4名）：長岡西病院ビハラー病棟

「秋葉班」（1～2名）：ささえ愛よろずケアタウン

「美濃班」（2～3名）：沼口医院

「松阪班」（1～2名）：松阪市民病院緩和ケア病棟

「浪花班」（2～4名）：ビハラー21関連施設群

※実習時間は、1ヶ月間に12時間以上×2ヶ月分＝24時間以上、とする。

※全体会の中でも、追悼巡礼、カフェ・デ・モンクの実習を行う。

【研修の概要】

<事前学習>

1. 参加動機： これまで／これからの自分自身の「臨床宗教師」としての活動をふまえて、今回の研修に参加する動機や、研修で特に学びたいことについて 1000字程度にまとめる。
2. 生育歴： 出生から現在に至るまで、自分の人生に影響を与えた出来事について、その時の思いを含めて 5000字程度で記述する。さらに、記述して気づいたことや感想を 800字程度にまとめ、800字程度のレポートだけを提出する。（5000字程度のレポートは研修が終わるまで自分で保管する。）
3. 人生観： 自分自身の人生観、死生観、信仰について、影響を受けた人物や書物、出来事などを含めて 2000字程度で記述する。さらに、記述して気づいたことや感想を 800字程度にまとめ、800字程度のレポートだけを提出する。（二千字程度のレポートは研修が終わるまで自分で保管する。）
4. 活動計画： これまでの社会活動を踏まえて、研修修了後の臨床宗教師としての活動計画について 1000字程度にまとめる。
上記1～4のレポートを9月16日までに提出する。
5. 課題学習： 研修中に行う講義の予習として、事前に送付する資料に基づいて学習する。詳細は研修参加決定後に指示する。

<実習>

- ・岡部医院： 故岡部健医師が設立した、医療法人社団爽秋会による在宅緩和ケアの専門機関。岡部医院スタッフの訪問活動に同伴し、がん患者の療養生活の場を見学（必ずしも患者さん・ご家族との対話ができるとは限らない）。訪問先は名取市内・仙台市内、平日日中の訪問に帯同する。
- ・Café de Monk（カフェ・デ・モンク）： 僧侶・牧師などが協力して運営している傾聴移動喫茶。石巻市など三陸海岸を中心に、仮設住宅の集会所でコーヒーやケーキを提供しながら傾聴活動を続けている。2014年2月からは仙台市中心部での傾聴喫茶も開催。
- ・仙台食品放射能計測所： 仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク（東北ヘルプ）が運営し、原則無料で食品などの放射能計測を行う。放射能に関する不安を傾聴する必要性から牧師や僧侶がチャプレンとして活動する。平日9時から17時まで。仙台市青葉区の仙台北教会内。

- ・電話相談： 「心の相談室」が運営する宗教者による電話相談窓口。牧師、僧侶、神職などが相談に応じる。水曜日の15時から21時（前半3時間、後半3時間の当番制）。仙台市青葉区内のマンスヨンの一室。
- ・光ヶ丘スペルマン病院ホスピス： カトリック仙台教区が母体となって設立された一般財団法人光ヶ丘愛世会が運営する院内独立型のホスピス。棟内に小聖堂と祈りの間があり、毎月第三火曜日15時からミサがある（参加自由）。パストラルケアワーカー1名が常駐し、パストラルケアボランティアも関わる。実習は、平日の8時30分～17時。仙台市宮城野区。
- ・佼成病院ビハーラ病棟： 立正佼成会附属病院が運営する緩和ケア病棟。病棟内に御宝前があり、スピリチュアルケアワーカー（心の相談員）がボランティアとして活動する。実習は、平日の9時～17時。東京都中野区。
- ・長岡西病院ビハーラ病棟： 医療法人崇徳会が運営する仏教系緩和ケア病棟。病棟内に仏堂があり、朝夕に読経の時間がある。常勤ビハーラ僧の他に、十数名の地元の僧侶がボランティアとして関わる（超宗派）。実習は、ビハーラ僧の勤務にあわせて原則として平日の8時15分～17時。新潟県長岡市。
- ・ささえ愛よろずクリニック： 医療法人社団ささえ愛よろずが運営する内科・心療内科・精神科クリニックを中心に、高齢者住宅、デイサービス、訪問介護、在宅終末期ケアを行う。実習は原則として平日の9時～17時。新潟市秋葉区。
- ・沼口医院： 医療法人徳養会が運営するクリニックと、訪問看護ステーション・アミターユスにより、在宅緩和ケアを行う。看護師による訪問看護は平日の8時30分～17時。医師による訪問診療は火曜日（13時～17時）と金曜日（13時～20時）。岐阜県大垣市。
- ・松阪市民病院緩和ケア病棟： 松阪市が運営する市民病院内にある院内独立型の緩和ケア病棟。実習は平日の8時30分～17時15分。三重県松阪市。
- ・ビハーラ21関連施設群： NPO法人ビハーラ21の僧侶、神職、介護職などが協力して、身寄りのない高齢者や精神障害者などが終の棲家として生活する場を提供している。ビハーラ僧2名とスピリチュアルケア専門員1名が常駐し、数名のボランティアが関わる。実習は原則として平日の9時～17時だが、希望があれば夜間の宿直を体験することもできる。大阪市平野区。
- ・追悼巡礼： 慰霊・鎮魂・追悼のために、祈り、読経をしながら被災地を歩く。

<講義>

臨床宗教師の倫理	「臨床宗教師倫理規定」に基づいて、臨床宗教師に求められる基本的な態度、及び禁止事項について学ぶ。
臨床宗教師の理念	臨床宗教師を提唱するに至った経緯、社会的背景、将来像について学ぶ。
公共性の確保	宗教者が公共性を確保するために必要な知識と知恵について、事例に則して学ぶ。
宗教間対話	他の宗教者と協働するための思想や行動について学ぶ。
民間信仰論	地域社会における共同体やその成員の宗教文化の基層をなす民間信仰と、現代社会における宗教の意義について学ぶ。
地域と文化	地域の文化・慣習、地理、言語など、実習先となる地域を理解するための基本的情報について学ぶ。
人権擁護	ジェンダー、民族、同和問題など人権擁護に関する基礎知識を確認する。
スピリチュアルケア	ホスピス運動とともに注目されるようになったスピリチュアルケアについて、その方法と基本姿勢を理解する。
宗教的ケア	スピリチュアルケアと宗教的ケアの相違と共通点について、具体的な方法を交えて確認した上で、宗教的ケアの特徴を理解する。
グリーフケア	行方不明者家族の心理的特徴（あいまいな喪失）を含め、喪失体験による悲嘆（グリーフ）とそのケアについて、宗教との関連を中心に学ぶ。

精神保健と医療	うつやPTSDなど、精神保健分野における課題についての基礎知識を学ぶ。
在宅緩和ケア	がん発症から、治療、緩和ケアまでのプロセスを踏まえて、在宅ケアの目的・ケア方法、訪問先での留意事項について学ぶ。
カフェ・デ・モンク	実習現場である傾聴移動喫茶 Café de Monk の目的・実践、そして現場での留意事項についての特別講義。
放射能の影響	放射能についての基礎知識と、実習現場である食品放射能計測所や、福島の大震災から聞こえてくる苦悩についての特別講義。

<グループワーク>

日常儀礼	信徒が行う日常的な儀礼を実施し、研修生全員で共有する。毎日朝晩に実施して一日の区切りとする。必要最低限の祭具で行う。
研修振り返り	全体会での学びを中心に、自分自身の課題を明らかにする。
実習振り返り	実習で経験したことを研修生全員で共有する反省会。
傾聴	話す・聴く・観るの3人組のワークにより、傾聴についての基本姿勢を学ぶ。
死の体験	一人称の死の体験を擬似的に経験することで、死別や死を迎える心理について思いを馳せ、グリーフケアやターミナルケアへの準備とする。
ロールプレイ	人々が悲嘆している時、死についての苦悩、「霊的現象」についての相談などへの対応（対話や儀礼）を、ロールプレイ（役割演技）で実演する。
会話記録	特に印象に残ったケースについて会話記録を作成し、読み合わせによって現場での経験を共有し、相互に学びあう。

<主な研修担当者>

- ・谷山洋三（たにやま・ようぞう） 東北大学大学院文学研究科准教授、「心の相談室」理事、日本スピリチュアルケア学会評議員、仏教看護・ビハーラ学会理事、元・長岡西病院ビハーラ僧。
- ・金田諦應（かねた・たいおう） 曹洞宗大通大寺住職、東北大学実践宗教学運営委員長、「心の相談室」理事、傾聴移動喫茶 Café de Monk 主宰、自殺防止ネットワーク「風」会員・宮城県相談所運営。
- ・三浦紀夫（みうら・のりお） NPO 法人ビハーラ21 ビハーラ僧・事務局長、真宗大谷派瑞光寺衆徒。
- ・森田敬史（もりた・たかふみ） 長岡西病院ビハーラ僧、東北大学大学院文学研究科博士課程。
- ・打本弘祐（うちもと・こうゆう） 社会福祉法人慶徳会常清の里心の相談員、桃山学院大学非常勤講師、元・あそかビハーラクリニック・ビハーラ専門僧。
- ・高橋悦堂（たかはし・えつどう） 曹洞宗普門寺副住職。爽秋会岡部医院・ふくしま在宅緩和ケアクリニック臨床宗教師ボランティア。

<予定表（例）> 次ページ ※現地の状況の変化などにより予定を変更することがあります。

【申込・問合せ先】

東北大学大学院文学研究科 実践宗教学寄附講座 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1

Homepage: <http://www.sal.tohoku.ac.jp/p-religion/top.html>

Email: j-shukyo@g-mail.tohoku-university.jp

Tel&Fax: 022-795-3831 ※お問い合わせはEメールもしくはファックスをお願いします。

（原則として火曜・木曜に事務補佐員が在室）

第6回臨床宗教師研修(3ヶ月、看取り&被災者支援)

- ・講義とグループワークは、受講者全員が集まって2泊3日もしくは1泊2日で実施する(「全体会」と呼ぶ)。
- ・実習先は、岡部医院、カフェデモンク、電話相談、仙台食品放射能計測所、スベルマン病院ホスピス、佼成病院ビハーラ病棟、長岡西病院ビハーラ病棟、ささえ愛よろずクリニック、沼口医院、松阪市民病院緩和ケア病棟、ビハーラ21関連施設群
- ・受講者は最大15名とし、実習先ごとに9班に分ける(青葉、日高見、宮城野、武蔵野、越州、秋葉、美濃、松阪、浪花)。実習班ごとに定員を定めて受講者を募集する。
- ・実習日程は、受講者が直接実習先に連絡し、現場担当者と相談して決める。ただし、同時に複数の実習生が受け入れられるのはカフェデモンクのみ。
- ・実習は月2～3回程度として各自のペースに任せるが、次の全体会までに8時間以上経験する。不足分は次の実習期間内に補う。
- ・研修費は無料。交通費、宿泊費、病院等施設実習費は自己負担。

	班	青葉	日高見	宮城野	武蔵野	越州	秋葉	美濃	松阪	浪花
	定員	1～2名	2～4名	1～2名	2～3名	2～4名	1～2名	2～3名	1～2名	2～4名
	実習先	岡部医院、電話相談、放射能計測所	岡部医院、カフェデモンク	スベルマン病院ホスピス	佼成ビハーラ	長岡ビハーラ	ささえ愛	沼口医院	松阪市民病院	ビハーラ21
9月下旬	実習準備	各実習先に提出する書類の準備(臨床研修同意書、実習依頼書など)								
9月下旬～	事前学習	講義の予習課題による事前学習								
10月15日～17日	全体会1	講義(理念、倫理、地域と文化、カフェデモンク、在宅緩和ケア、スピリチュアルケア、会話記録の作成法)、グループワーク(日常儀礼、死の経験、傾聴、実習振り返り、ロールプレイ、研修振り返り)、実習(追悼巡礼、カフェデモンク)								
10月18日～11月16日	実習期間1	岡部(8h)電話(4h)	カフェ(12h)又は岡部(8h)+カフェ(4h)	スベルマン(12h)	佼成(12h)	長岡(12h)	ささえ愛(12h)	沼口(12h)	松阪(12h)	ビハーラ(12h)
11月17日～18日	全体会2	講義(精神保健、民間信仰論、宗教的ケア、グリーフケア、宗教間対話)、グループワーク(日常儀礼、実習振り返り、会話記録、研修振り返り)、実習(追悼巡礼)								
11月19日～12月14日	実習期間2	電話(8h)計測所(4h)	岡部(8h)+カフェ(4h)又はカフェ(12h)	スベルマン(12h)	佼成(12h)	長岡(12h)	ささえ愛(12h)	沼口(12h)	松阪(12h)	ビハーラ(12h)
12月15日～16日	全体会3(修了)	講義(人権擁護、放射能、公共性、実践宗教学)、グループワーク(日常儀礼、実習振り返り、会話記録、研修振り返り)、修了式								

- ・岡部医院での実習は、「医師による訪問」の見学と、「看護師による訪問」の見学を予定しているが、患者・家族と対話をする機会は保証されていない。1日参加を8h、半日(午後)を4hと計算する。そのため対話が可能なカフェデモンク、放射能計測所、電話相談での実習を組み合わせる。
- ・カフェデモンクでは被災者との対話が可能。1回目は通大寺での準備・片付けを含む8hとし、現地集合の場合は4hと計算する。
- ・放射能計測所では、午前又は午後の半日で4hと計算する。
- ・電話相談では、1回のシフト3hに記録作成時間を加えて4hと計算する。
- ・スベルマンでは、原則としてお茶出しのボランティアなどと共に行動し、患者／家族の希望者がいれば対話が可能。1日参加を8h、半日を4hと計算する。
- ・佼成ビハーラでは、1日参加(医師の回診に同行)を8h、半日を4hと計算する。
- ・長岡ビハーラでは、了解を得た患者・家族との対話が可能。読経・法話など、ビハーラ僧の業務を補助・代行することが求められる。1日参加を8h、半日を4hと計算する。
- ・ささえ愛では、医師／看護師／精神保健福祉士の訪問に同行する。1日参加を8h、半日を4hと計算する。希望者にはケアタウンでの宿泊も可能。
- ・沼口医院では、「医師による訪問」同行(火金午後)を4h、「看護師による訪問」同行(月～金)を8hと計算する。
- ・松阪市民病院では、医師の訪室に同行する。1日参加を8h、半日を4hと計算する。
- ・ビハーラ21では、共有スペースでの入居者との対話が可能。1日参加を8h、半日を4hと計算する。希望者には関連施設での宿泊・当直も可能。

第6回「臨床宗教師研修」参加申込書				
ふりがな 氏名		男・女	生年月日 (年齢)	19 年 月 日 (歳)
住所	〒			
電話番号		Email アドレス		
FAX		緊急連絡先電話 (氏名)		
携帯電話		携帯電話の メールアドレス		
所属 教団名				
所属教会/寺社/団体名	1 (宗教者としての所属先・肩書き)		2 (左記以外にある場合)	
所属1 連絡先	〒 電話番号			
所属2 連絡先	〒 電話番号			
希望する 実習班	第1希望	第2希望	第3希望	
備考				

この用紙はHPからダウンロードできます。
期日までに郵送してください。

【郵送先】 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1
東北大学大学院文学研究科 実践宗教学寄附講座